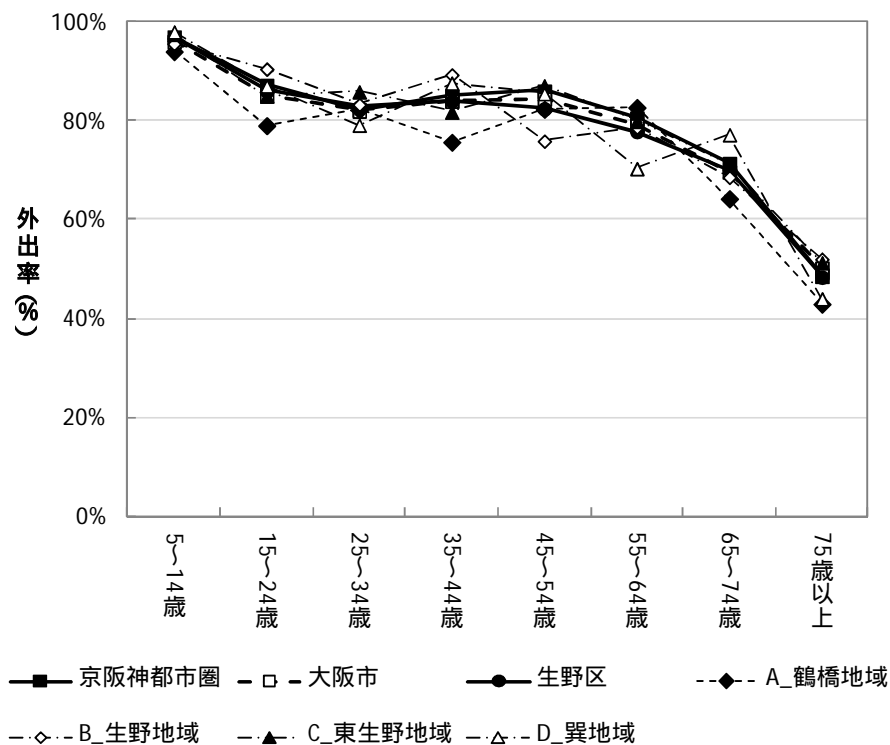
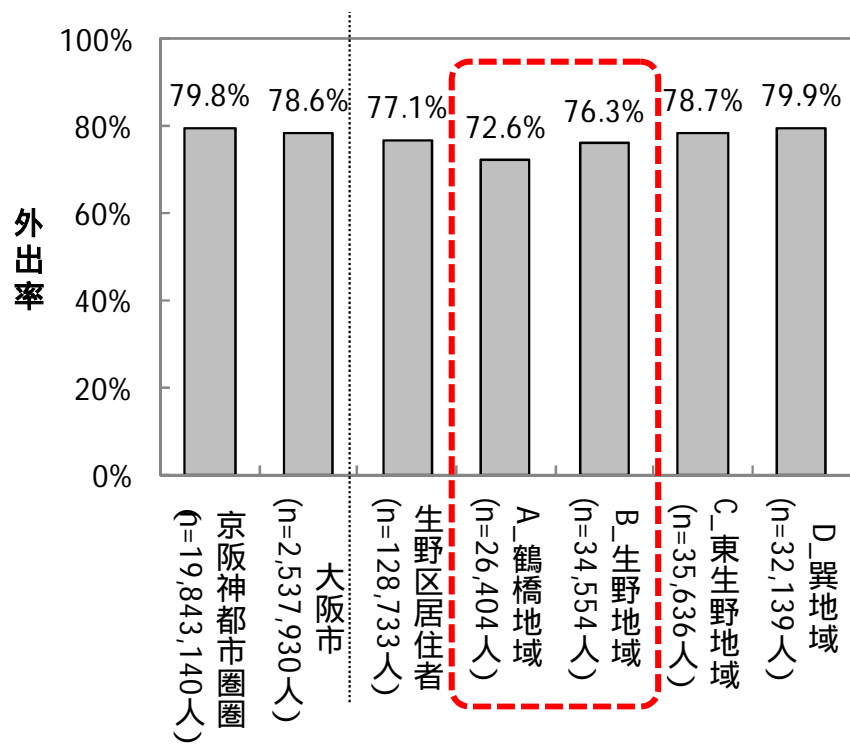


6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【外出率】

- ・生野区居住者の外出率：**77.1%**
京阪神都市圏：79.8%、大阪市：78.6%よりもいくぶん低い。
- ・鶴橋地域と生野地域が他地域よりも低い。

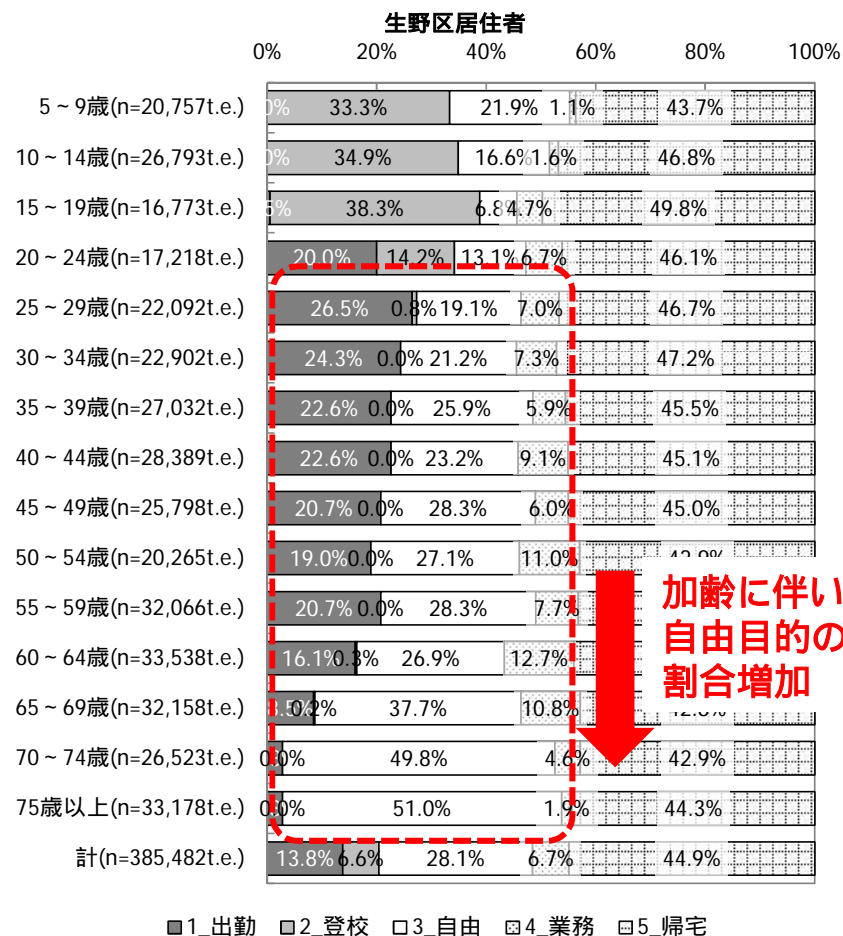
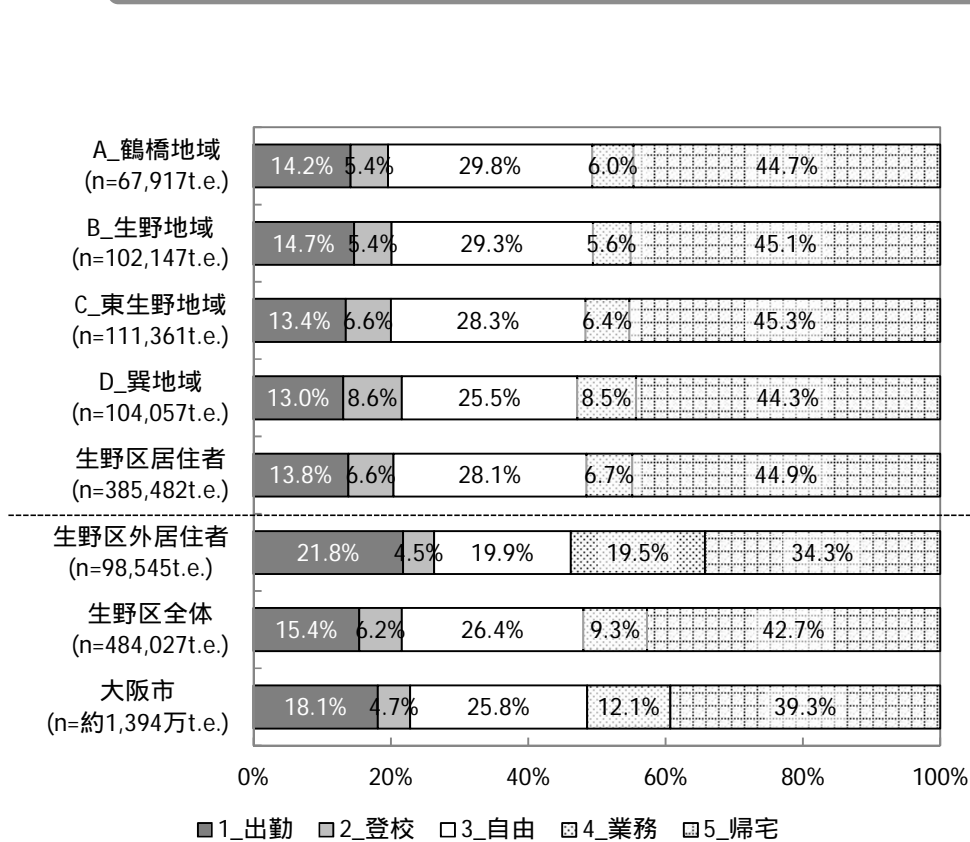


出典：第5回京阪神都市圏パーソントリップ調査(平成22年)

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【目的別発生集中量】

- ・地域別発生交通量の目的構成は地域居住者属性をおおむね反映
- ・加齢に伴って自由目的の割合が増加

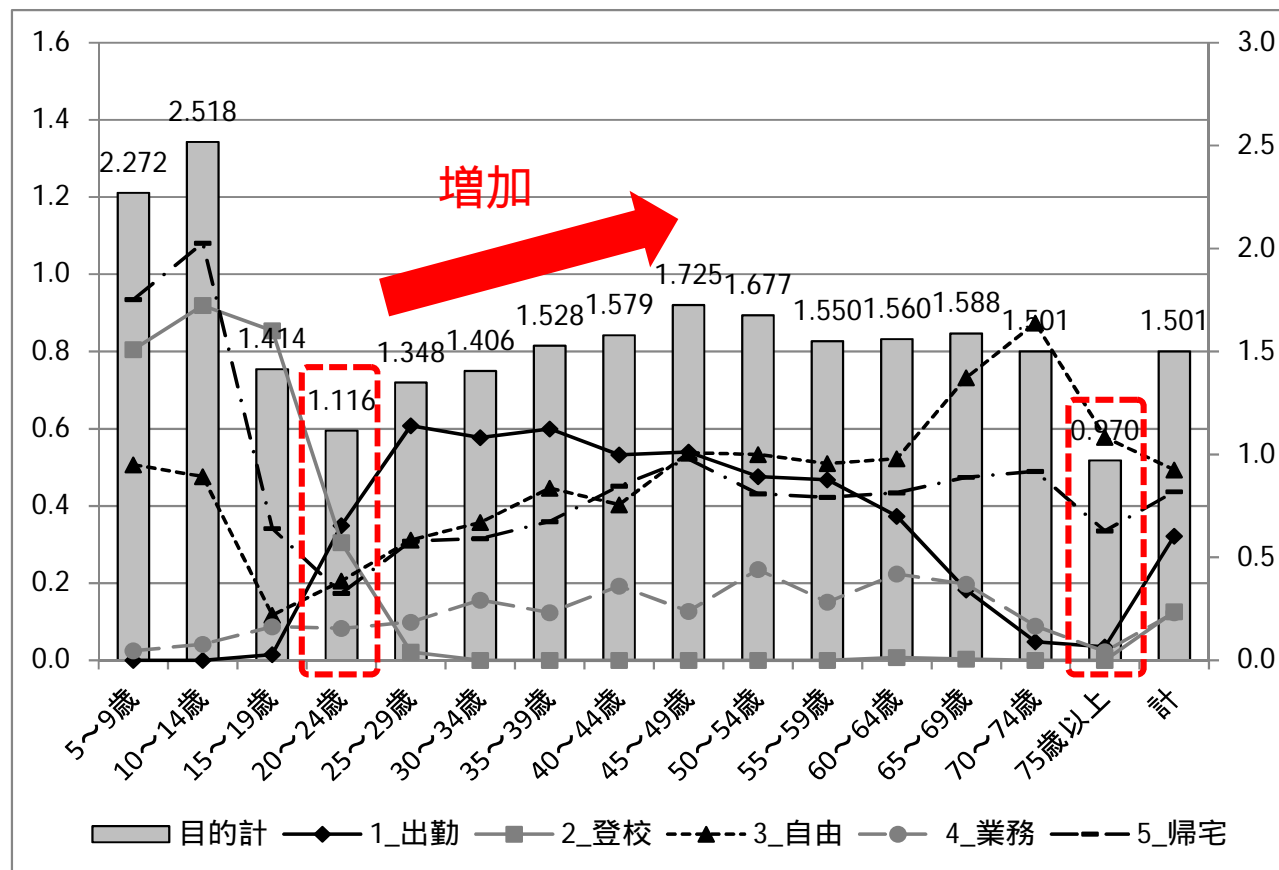


出典：第5回京阪神都市圏パーソントリップ調査（平成22年）

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【属性別目的別一人当たり発生トリップ数】

- ・75歳以上が最も少なく、その次に20～24歳が次いで少ない。
- ・加齢に伴ってトリップ数は増加



出典：第5回京阪神都市圏パーソントリップ調査(平成22年)

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

43

【自由細目的別発生量】

- ・買物が比較的元気な高齢者の主目的外出
- ・障がい者は買物目的の外出が最多
- ・75歳以上と要支援者・要介護者：通院が最多

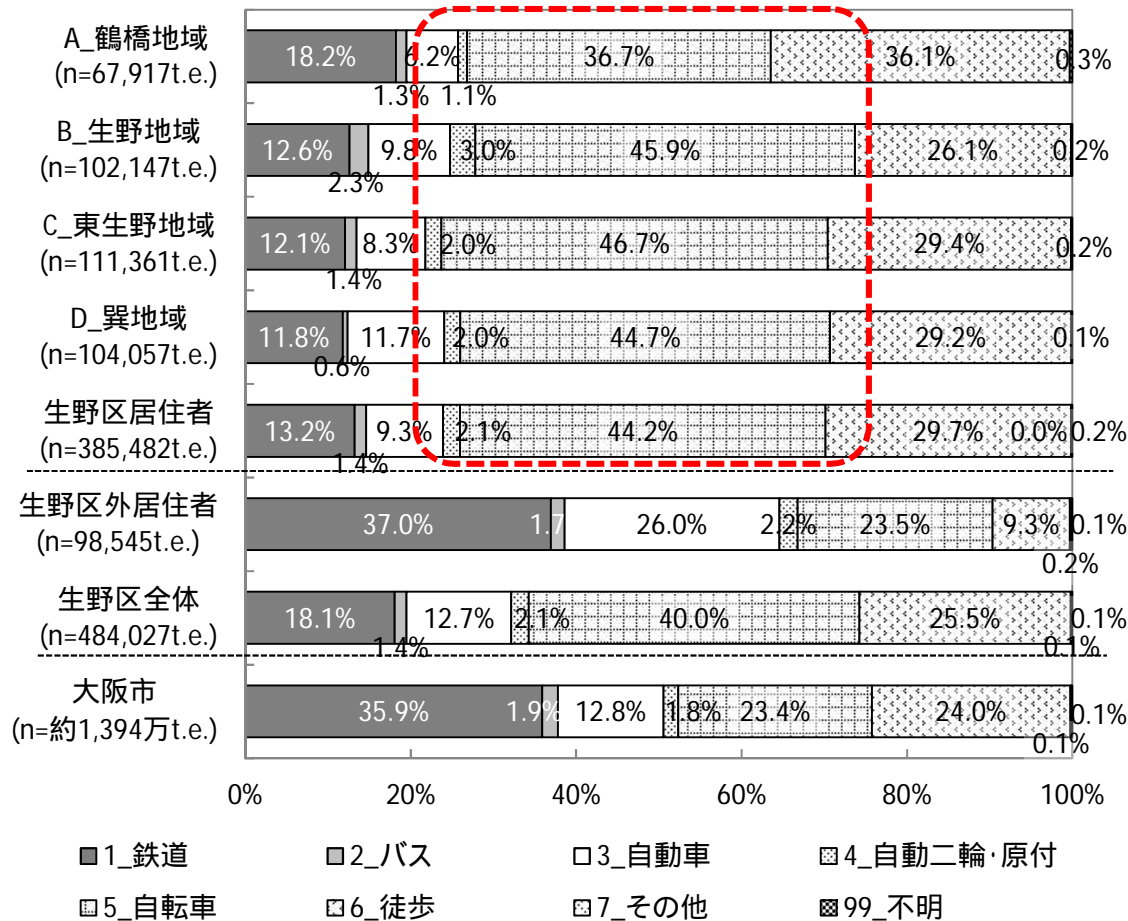
| 属性 | 買物 | 「病院」等 での受 診・治療 | 食事・社 交・娯楽 | 「送り迎 え」で乗 せ降ろし | 散歩・ジョ ギング | その他日 常的な活 動 | 非日常的 活動 | 自由目的 不明 | 自由目的 計 |
|--------|--------|----------------------|--------------|----------------------|--------------|-------------------|------------|------------|-----------|
| 5～14歳 | 151 | 308 | 229 | 76 | | 2,383 | 376 | 1,325 | 4,848 |
| 15～64歳 | 11,034 | 3,049 | 3,121 | 3,228 | 1,784 | 4,027 | 3,426 | 3,902 | 33,571 |
| 65～74歳 | 4,976 | 1,745 | 974 | 454 | 1,747 | 1,532 | 1,907 | 1,839 | 15,174 |
| 75歳以上 | 2,628 | 2,827 | 653 | 176 | 698 | 775 | 734 | 1,408 | 9,899 |
| 要支援者 | 400 | 552 | 171 | 31 | 207 | 84 | 112 | 415 | 1,972 |
| 要介護者 | 178 | 479 | 174 | 77 | 56 | 205 | 67 | 38 | 1,274 |
| 障がい者 | 932 | 834 | 159 | 174 | 310 | 233 | 425 | 475 | 3,542 |
| 外出困難者 | 1,598 | 1,880 | 681 | 221 | 454 | 569 | 506 | 762 | 6,671 |

出典：第5回京阪神都市圏パーソントリップ調査（平成22年）

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【代表交通手段別発生集中量】

- ・電車、バス、自動車といった交通機関利用が少ない。
- ・自転車分担率は44%に達する。

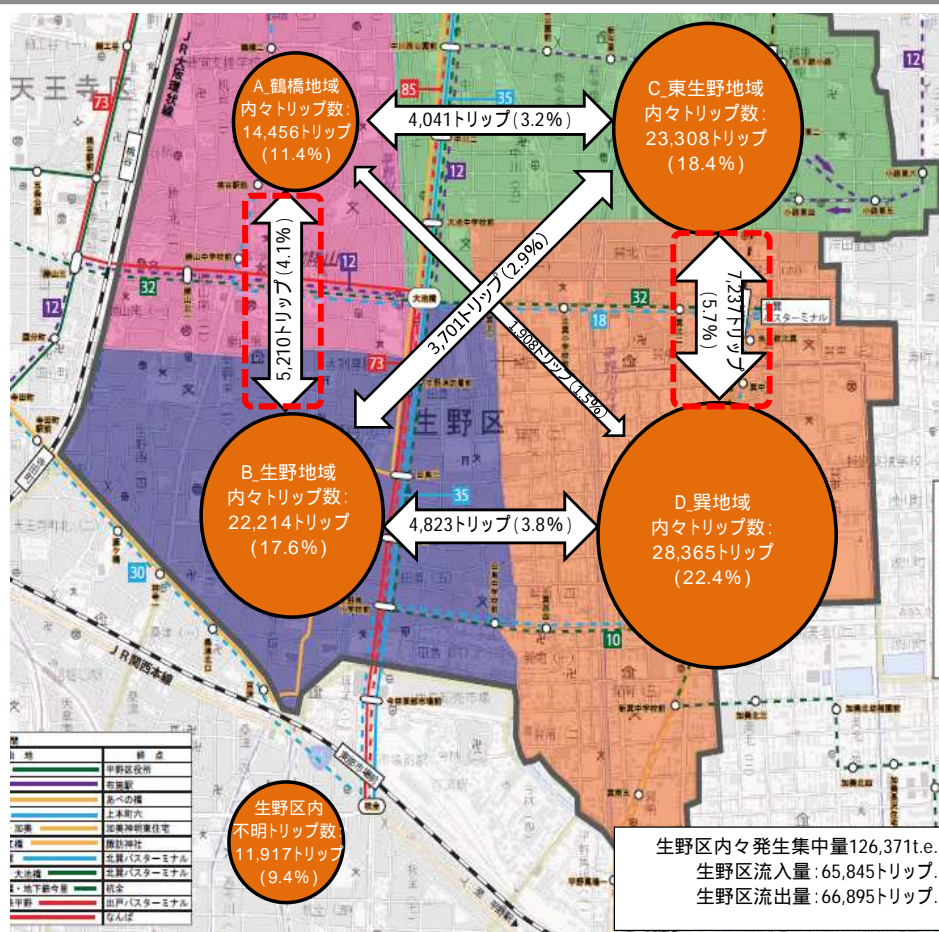


出典：第5回京阪神都市圏
パーソントリップ調査(平成22年)

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【生野区内の地域間流動】

- ・東西および南北隣接地域間が主流
- ・「東生野～巽地域」、「鶴橋～生野地域間」が相対的に多い。

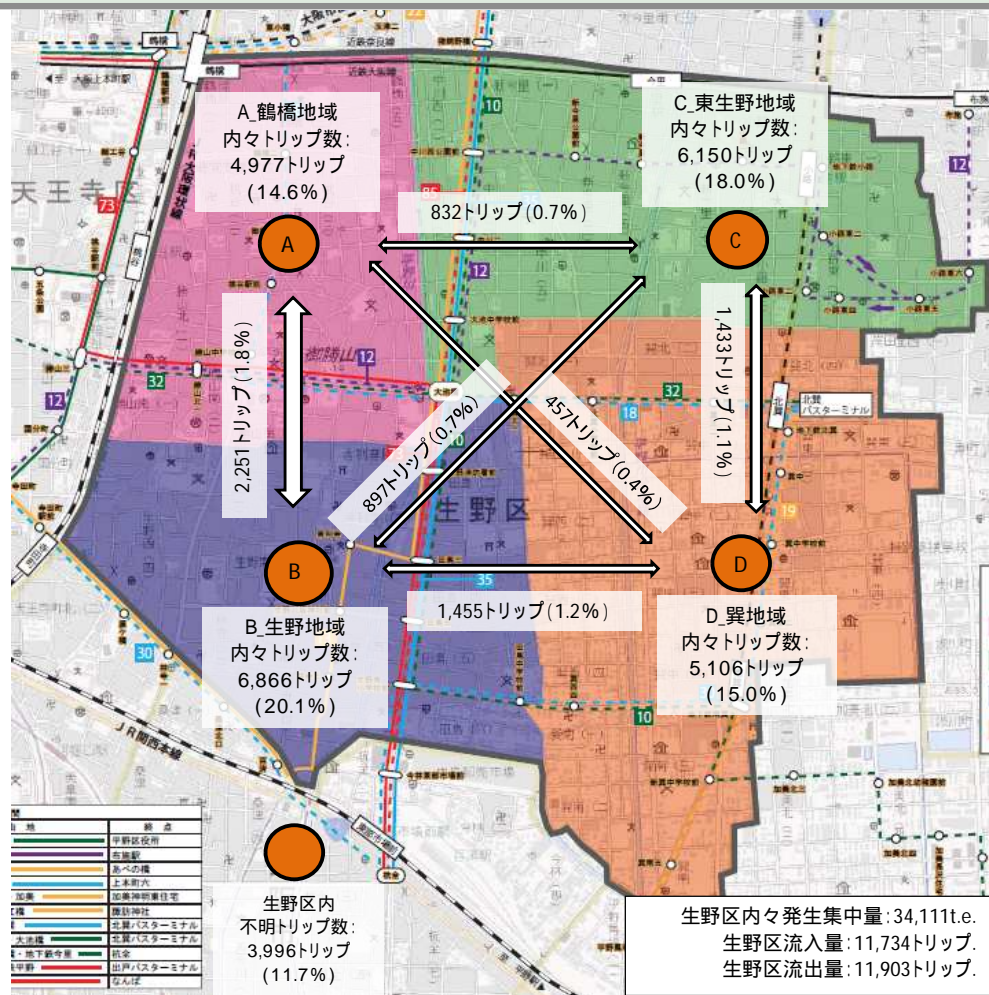


出典：第5回京阪神都市圏
パーソントリップ調査(平成22年)

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【高齢者の生野区内地域間流動】

・高齢者は、**地域内交通が主流**。



出典：第5回京阪神都市圏
パーソントリップ調査(平成22年)

6 パーソントリップ調査結果に基づく区民の交通実態

【生野区居住者の発生・集中時間分布】

- ・発生時間分布：高齢者は9時台～11時台が多い。
- ・集中時間分布：高齢者は2つのピーク（10時台、16時台）に形成。

